

製品名: GDI-2 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab11391**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	50kDa

抗原情報

遺伝子名	GDI2
別名	GDI2; RABGDIB; Rab GDP dissociation inhibitor beta; Rab GDI beta; Guanosine diphosphate dissociation inhibitor 2; GDI-2
遺伝子 ID	2665.0
SwissProt ID	P50395
免疫原	ヒト GDI-2 の C 末端領域から得られた合成ペプチド。

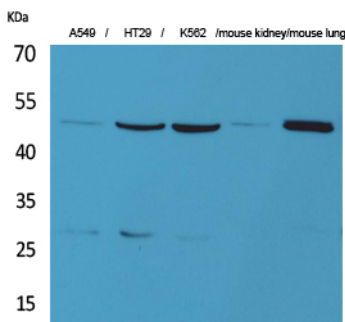
背景

GDP 解離阻害因子 (GDI) は、ras スーパーファミリーに属する低分子 GTP 結合タンパク質である rab ファミリーのメンバーの GDP-

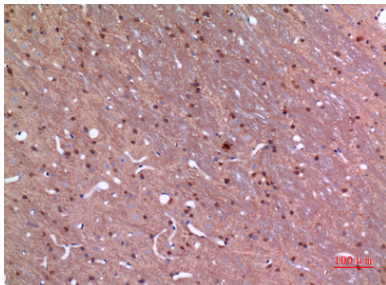
GTP 交換反応を制御するタンパク質であり、細胞小器官間の分子の小胞輸送に関与しています。GDI は rab タンパク質からの GDP の解離速度を低下させ、膜結合 rab タンパク質から GDP を遊離させます。GDI2 は普遍的に発現しています。GDI2 遺伝子には多くの反復配列が含まれており、逆位/欠失再構成を受けやすい可能性があります。選択的スプライシングにより、異なるアイソフォームをコードする複数の転写バリエーションが生成されます。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]、機能:ほとんどの Rab タンパク質の GDP/GTP 交換反応を制御し、GDP の解離とそれに続く GTP の結合を阻害します。類似性:Rab GDI ファミリーに属します。組織特異性:普遍的で

研究分野

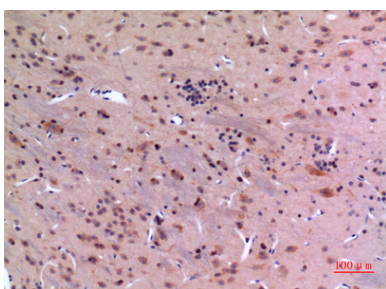
画像データ



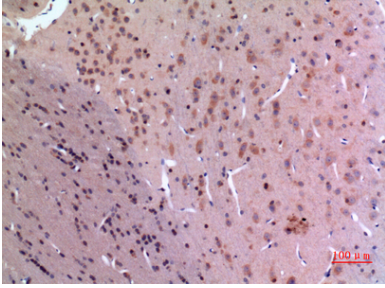
GDI-2 ポリクローナル抗体を用いた A549、HT29、K562、マウス腎臓細胞、マウス肺細胞のウェスタンブロット分析。二次抗体は 1:20000 に希釈された。



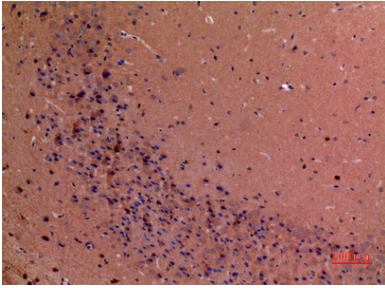
パラフィン包埋ラット脳の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された



パラフィン包埋ラット脳の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された



パラフィン包埋ラット脳の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された



パラフィン包埋マウス脳の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された